

**環境に自らかかわり
主体的に活動する
幼児・児童の育成**

**～「遊び」と「学び」をつなぐ
幼小の円滑な接続を目指して～**

荒川区立町屋幼稚園

荒川区立第七峡田小学校

○研究指定を受けて

| | 幼児期の教育 | 児童期の教育 |
|---------------|--|--|
| 教育課程の 基準 | 幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保 連携型認定こども園教育・保育要領 | 小学校学習指導要領 |
| | 健康・人間関係・環境・言葉・表現 | 国語・社会・算数・理科・生活・音楽・図 画工作・家庭・体育・道徳・外国語活動・ 総合的な学習の時間・特別活動 |
| 教育課程の 構成原理 | 経験カリキュラム (一人一人の生活や経験を重視) | 教科カリキュラム (学問の体系を重視) |
| | 方向目標 (その後の教育の方向付けを重視) | 到達目標 (具体的な目標への到達を重視) |
| 教育の方法等 | 遊びを通じた総合的な指導 | 教科等の目標・内容に沿って選択された教 材による指導 |
| 学びの形態 | 学びの芽生え(無自覚的な学び) 学ぶことを意識していないが、楽しいこ と好きなことに集中することを通じて、 様々なことを学んでいくこと | 自覚的な学び 学ぶことについての意識があり、与えられ た課題を自分の課題として受け止め、計画 的に学習を進めていくこと |

幼児期と児童期の「学び」の接続の推進に向けて(兵庫県教育委員会,平成26年)



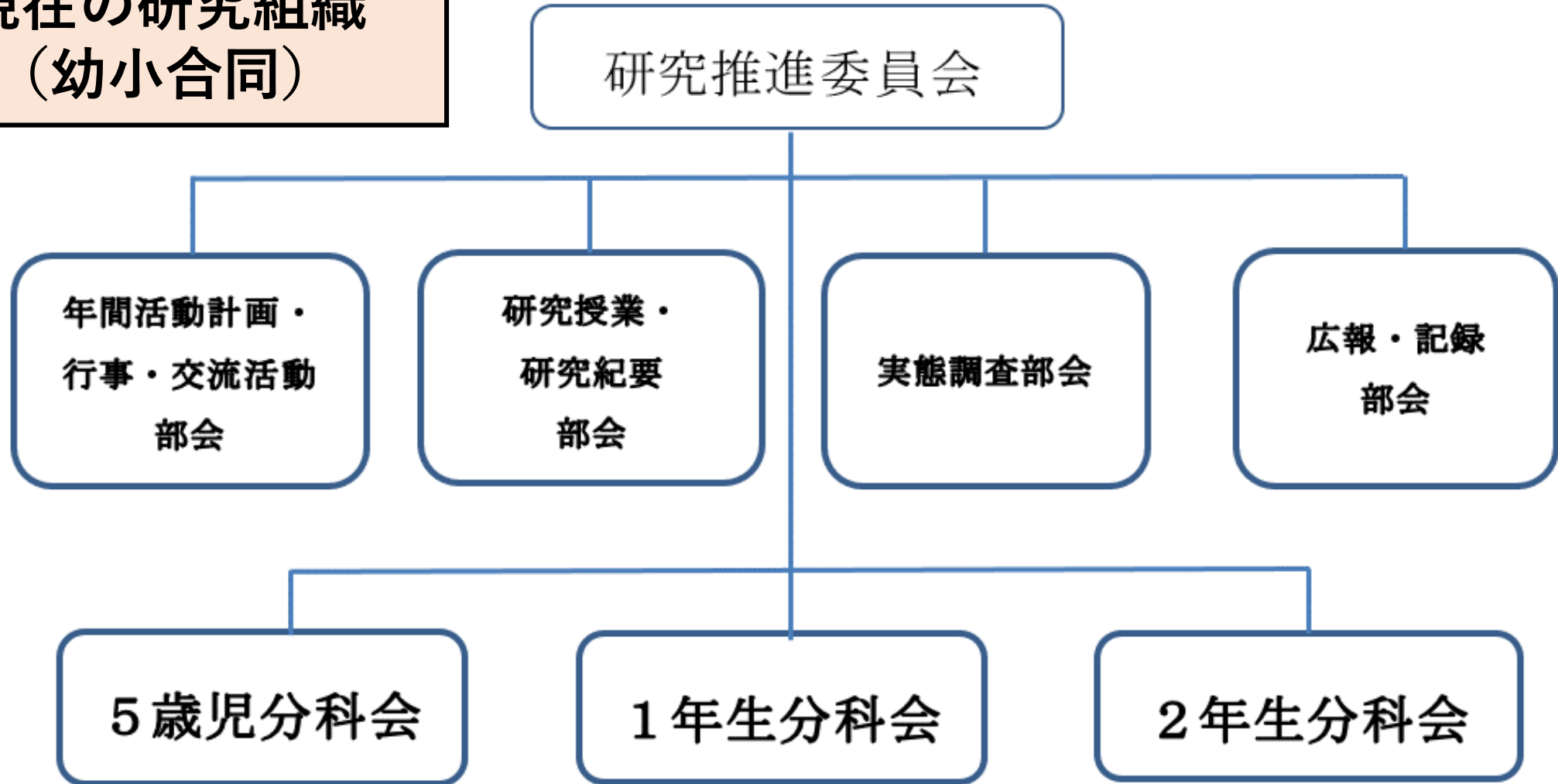
相互参観（年間3回）



研究保育・授業

○現在の研究組織

現在の研究組織
(幼小合同)



○研究指定を受けてからの思い



◎研究の概要

「指導計画」

「ななはけラボ」

「研究保育・授業」

○研究の概要（指導計画）

平成31年度版 東京都版 5歳児から小学校低学年をひとまとまりとした教育課程

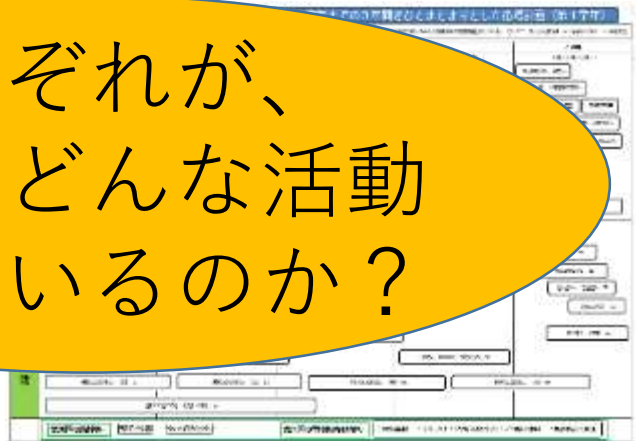
This table represents the educational curriculum for the Heisei 31 Tokyo edition, covering ages 5 to early elementary school. It is a large grid with multiple columns and rows, organized by subject and grade level. The grid is color-coded with green and yellow sections. The top row contains introductory text and objectives. The main body of the grid contains detailed descriptions of learning activities and content for various subjects across different grade levels. A vertical label on the right side reads '第5学年以降 小学生の教育課程' (Elementary School Curriculum from 5th Grade onwards).

令和2年度版 荒川区版 5歳児から小学校第2学年までをひとまとまりとした教育課程

This table represents the educational curriculum for the Reiwa 2 Arakawa City edition, covering ages 5 to the 2nd grade of elementary school. It is a detailed grid with multiple columns and rows, organized by subject and grade level. The grid is color-coded with green and yellow sections. The top row contains introductory text and objectives. The main body of the grid contains detailed descriptions of learning activities and content for various subjects across different grade levels. A vertical label on the right side reads '第3学年以降 小学生の教育課程' (Elementary School Curriculum from 3rd Grade onwards).

令和2年度 本園・校版 5歳児から小学校第2学年までの3年間をひとまとまりとした指導計画

それぞれが、
いつ・どんな活動
をしているのか？



同じ視点で
子どもを見取るには
どうすればいいのか？



令和3年度 本園・校版 5歳児から小学校第2学年までを連続した時期として捉えた指導計画

| 学年 | 5歳児 | 6歳児 | 7歳児 | 8歳児 | 9歳児 | 10歳児 |
|------|----------|----------|----------|----------|----------|-----------|
| 指導計画 | 5歳児の指導計画 | 6歳児の指導計画 | 7歳児の指導計画 | 8歳児の指導計画 | 9歳児の指導計画 | 10歳児の指導計画 |

| 学年 | 5歳児 | 6歳児 | 7歳児 | 8歳児 | 9歳児 | 10歳児 |
|------|----------|----------|----------|----------|----------|-----------|
| 指導計画 | 5歳児の指導計画 | 6歳児の指導計画 | 7歳児の指導計画 | 8歳児の指導計画 | 9歳児の指導計画 | 10歳児の指導計画 |

※5歳児の指導計画については、東京都や荒川区の作成した指導計画を基に、幼小の一層の円滑な接続を図るための研究の視点として「文字・言葉」、「数量・図形」、「自然」の3つを抽出して記載したものであり、日々の保育では幼児期の終わりまでに育ててほしい姿の全てについて、子どもの生活を通して総合的に指導している

3, 4歳児

5歳児

1年生

2年生

3~6年生

幼児期のさまざまな経験と小学校の教科学習とのつながりを明確にしていく。それにより、就学前施設で小学校へつなぐと考えられる経験や活動を取り入れることや、小学校の教科学習においてその経験を生かした学習を取り入れることが、幼児・児童の主体的な学びを引き出せると捉えている。

検証方法

- 本園卒園児の5歳児から2年生までを継続した見取りによる活動の記録
- 保護者・児童・就学前施設と小学校の教職員への質問紙調査による結果検証
- 幼児期の経験をもとにした、小学校における学習実践による成果検証

○研究の概要（ななはけラボ）

5期の環境の構成



保育室と教室をつなぐ部屋

1期の環境の構成



○研究の概要（研究保育・授業）



◎幼小の教職員の変容

「幼小接続を意識した
連携・交流活動について」

「教職員の意識の変化」

「現在の保育・授業」

○幼小接続を意識した連携・交流活動について

幼稚園の立場から

5年生と一緒に
楽器の演奏に挑戦。
楽しいな。



○幼小接続を意識した連携・交流活動について

幼稚園の立場から

幼稚園でもいろいろな
楽器を演奏してみよう！



幼稚園に小学生が
来てくれたよ。



○幼小接続を意識した連携・交流活動について

小学校の立場から

幼稚園生に優しい
1年生になりたいです！



幼稚園の子たちが
見に来てくれた！
かっこいいところを
見せたいな。



○幼小接続を意識した連携・交流活動について

小学校の立場から



この間の
交流よりも
上手に教えて
あげられた。

○教職員の意識の変化

(学校・園内アンケートの結果から)

<平成31年度以前の保育・授業>

幼稚園

小学校とつながっているということは分かっていたが、実際の保育への意識には至っていなかった。

小学校

各教科のねらいや特性に合わせた授業づくりを意識しており、幼小接続について重点的に捉えてはいなかった。

○現在の保育・授業

(学校・園内アンケートの結果から)

【在籍1・2年の教職員】

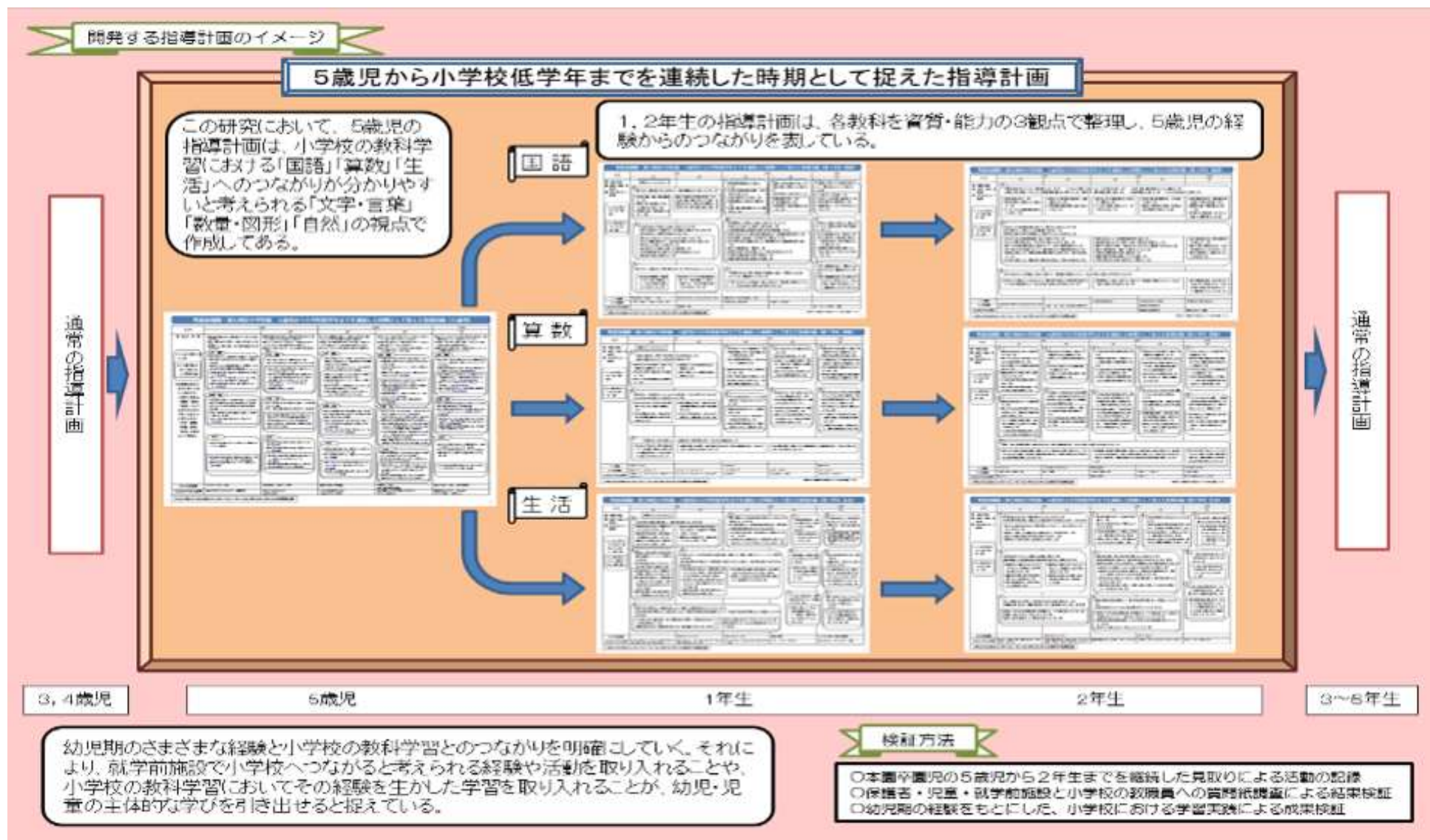
- 子どもの見取り方が変化
- 子どもの主体性をいっそう重要視
- 一人ひとりの育ちや経験の
- 丁寧な見取り
- 個に応じた援助

【在籍3年以降の教職員】

- 「遊びと学びをつなぐ」ために互いの
- 保育・教育活動の理解に努める
- 子どもの思いや願いを大切にした指導
- 遊びや学びを深めるための環境構成の工夫
- 指導計画をもとに総合的に指導すること

幼小それぞれの専門性から学び、互いのよい点を取り入れながら、保育・授業を改善している。

現在の保育・授業（指導計画の作成・活用）



○現在の保育・授業(5歳児の実践)

5歳児 2期 6月下旬「七夕の飾りを作ろう」



5歳児 2期 6月下旬「七夕の飾りを作ろう」



○現在の保育・授業(第1学年の実践)

第1学年 4期 10月「きせつとなかよし あき」



第1学年 4期 10月「きせつとなかよし あき」

生活「きせつとなかよし あき」
秋の自然の様子や自然物に関心
をもち、それらを活用して遊び
や遊びに使うものをつくり出す
ことを楽しむ。



国語「もののなまえ/おみ
せやさんごっこをしよう」
上位語と下位語の概念を
捉える。

国語「てがみでしらせよう」
手紙の書き方を知る。就学前
施設の先生にお手紙を書く。

算数「おおきいかず」
100までの数が分かり、数え
ることができる。

通学路でどんぐりを
拾ったよ。みんなで
集めて遊びたいなあ。

第1学年 4期 10月「きせつとなかよし あき」



第1学年 4期 10月「きせつとなかよし あき」



○管理職の立場から見た保育・授業・教職員の変容



◎次年度に向けて

○他園・他校との連携・交流の一層の充実

○5歳児以前の育ちや、3年生以降の学びを意識した研究保育・授業の充実

○本実践を基に、広く汎用性のある取組として普及

◎講評

子どもの姿や、保育・教育の方法の背景にある意図などを、幼稚園・保育所と小学校が共に対話続ける

- 自らの保育・教育を問い直す

（保育者・教師としての意図/子どもにとっての意味）

- 説明する言葉をもつ

- 相手の意図を理解しようとする

（自らの枠組みから出てみる

→新しい視点・考え方、意図＋方法を知る）

相互理解の過程で、保育者・教師の視点や考えが広がり、子どもの経験・学習の充実につながる³⁰

< 学びの芽生え・土台としての幼児教育 >

- 遊びや活動の中で、五感を働かせ、豊かに心が動く経験を重ねる
興味や関心・不思議・多様な感情体験（失敗・負け・弱さなども）
- 生活のなかで生まれる「ねがい」「必要感」「こだわり」「愛着」をもつ
- 仲間と面白さ・やりたいを共有し、伝え合う（非言語・言語）

<自覚的な学びとしての小学校教育>

- 見え方・気付きが変わる

子どもの願い＋教師のねらいとしてのめあて

→よく見ようとする・取り組もうとする

→自ら考える・気付く

(具体的な事物・事象 ↔ 抽象的な概念)

- 幼児期の経験や、既習事項・自分のもつ知識を活かす学習と生活

接続を目指して行う連携の意味

5歳児担任・1年生担任だけでなく、園・学校・保護者・地域全体で、子どもの育ち・経験・学び・学習を見守り、支えていこうとする

- ・ 経験や学びの土台となる「安心感・居場所感」を感じられるように
- ・ 「主体的・対話的で深い学び」の実現

→子どもたちが、育ちへの期待や憧れをもち、自らの存在やその成長に、喜びや誇りをもつ